

ひだまり

発行所
聖愛園

〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701

TEL 0598-49-3115
fax0598-49-3783

通所事業所の開設に向けて

盛夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

当法人は一昨年来、松阪市内への障がい者通所支援事業所の開設を目指し精力的に活動して参りましたが、本年5月、松阪市山室町の用地にて進めておりました県への開発許可申請が無事に下り、本年度中の事業所開設に向けて大きく進みだしているところであり、ここに至るまでにはなかなか用地が決まらないもどかしさ、また様々な紆余曲折がありました。ようやく用地が決まり建築設計の段階に入っているいま、松阪多気管内の障がい者福祉の更なる充実に寄与できる日が近づいた事を喜ばしく思うと共に、『しっかりとやらなければ』と責任の重大さを感じている毎日であります。



(完成予想図)

現在、建物

も建っていない状況ではあります。事業所の名称についてはすでに決定しております。利用者の方々、

ご家族の方々、そして職員にとつても常に”陽のあたる暖かな場所“であるようにという願いを込め、『SunnyPlace (サニー・プレイス)』と付けさせていただきます。この名前に恥じることのない、利用者一人ひとりの人権と個性、障がい特性を尊重した暖かい福祉サービスを提供出来るよう職員一同精一杯努力して参りたいと思っております。

また最後になりますが、昨年に続き本年も県内の数多くの通所関係事業所様に見学をお願いし快くご協力を賜りました事にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。皆様から学んだ事を新しい事業所作りにしっかりと生かし、頂戴したご恩にお応え出来るよう一生懸命頑張らせていただきたいと思っております。

暑さ厳しい折ですので、皆様におかれましてはくれぐれもお体にお気を付け下さい。

総務部長 戸野歩

統括支援部長就任にあたり



四月より統括支援部長に就任致しました弓木と申します。

支援部長としてのやるべき事は何かを日々悩み自問自答しております。職員の知識・

技術向上の為の研修の充実や、モチベーションをどうやって維持向上させて行けば良いのかなど、やるべき事を少しずつ行ける。聖和福祉会の理念を実現して行ければと考えております。

来年には通所事業所が開設される予定で、「やるぞ」という気持ちの反面、充実した日中活動をどう提供して行くのか等の課題に対し焦りの気持ちも大きくなって来ております。一法人二施設となれば施設間での連携は非常に重要になってくると考えております。通所事業所を利用される方はご自宅でお住まいの方が多くかと思えますので保護者様や本人のレスパイトケアとして聖愛園の短期入所を御利用して頂くと言う様な良い連携が持てればと考えております。

まだ具体的な活動内容などは決まっています。精一杯努力し地域福祉の充実に寄与出来ればと思っております。

統括支援部長 弓木昭人

サービス管理責任者として

本年四月よりサービス管理責任者に就任させていただいた島田真美です。

最初の仕事はサビ管として重要な個別支援計画の作成でした。前任のサビ管が築きあげた計画に沿いながらも、やさしい支援をめざし計画を立てさせていただきました。その際には保護者の方々にご協力いただき本当にありがとうございました。はじめは計画作成だけで精一杯でした。しかし計画をたてて終わりではなく、利用者全員のサービス内容を把握し、支援員と共によいサービスを展開していくことが重要だということを追うことに感じます。

利用者全員の健康管理・衛生管理・危険予知、様々な場面で私の責任が問われます。利用者さんにより良い生活を送っていただくには、支援員の力が発揮できるような指導も求められます。その為には、すべての面での勉強が必要となり、責任重大です。でも、慌てず一步一步進めていこうと思っております。その為には聖愛園に勤務する全ての職員や保護者の方々のご協力が必要です。

個別支援計画は「何ができないか」ではなく「どのような支援があれば何ができるか」ということをコンセプトに置き、優しい支援に配慮したいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

支援部次長・サービス管理責任者 島田真美

聖愛園 第15回 夏祭り 盛大に開催



七月十四日第十五回聖愛園の夏祭りを開催いたしました。北島三郎の「まつり」の曲と共に、はつぴ・ゆかた姿の利用者さんが神輿を担いで登場すると会場内は一気にお祭りモード!

ハーモニカ愛好会によるハーモニカ演奏では、懐かしい音色に耳を傾け口ずさみ手拍子をするなど、とても楽しまれました。

特別支援学校の先生方による音楽療法では、ゆったりとした音楽に合わせてシャボン玉を飛ばして、なごやかな雰囲気になりました。大きな布のバルーンで風を表現し頭上を通り抜けると「涼しいな」と声が聞こえてきました。その後利用者さんや職員も参加してバルーンを上下に動かすと、まるで空の旅をしている様な気分を味わうことができました。

最後は勢和いきいき保存会の方々との盆踊りで盛大に盛り上がり、今年の夏祭りを締めくくりました。

ボランティアの皆様、お忙しい中夏祭りに参加して頂き誠にありがとうございました。

夏祭り担当
生活支援員 堀井亜弓

菜園活動



本年四月より四名の職員が農業班に抜擢!され、経験不足ではありますが、園の菜園活動を担当させていただくことになりました。

園内敷地にある畑を耕し石灰を撒き、元肥を入れ、畝を立て、夏野菜の苗を利用者さんと共に植えました。手慣れた様子で上手に苗を植えられる利用者さんに教わる事が多々あり、職員も勉強しながら楽しく活動させてもらっています。

日課として、朝夕の水やり、草引きを行い、最近少しずつ収穫も出来るようになってきました!

無農薬で育てた安心な野菜という事で、一部は職員に安価で販売し冬野菜用の種・苗代にしようと思っています。

先日はサツマイモ苗を植えました。利用者の方が水やりの際に、『大きくなあれ、おいしくなあれ』と話しかけてみえる姿を見かけたり、散歩の際に、大きく実った野菜を見つけては美味しい食べ方を教えて下さったりと、野菜を通して楽しい会話がはずみ、菜園活動の楽しさを味わう事ができ担当者として喜びを感じています。

サツマイモの収穫後には焼き芋とスイートポテトのリクエストをいただき、調理実習で全員のおやつにしたいと思っています。秋のサツマイモ収穫祭が楽しみです。

生活支援員 安藤陽子

あじさいまつり

6月9日、『大師の里 彦左衛門のあじさい祭り』に参加しました。

聖愛園はかき氷とジュース、保護者会は竹ようかんとサンマ寿司を販売しました。中でも竹ようかンは竹の準備から調理まで時間をかけた力作でしたが、当日はその珍しさも手伝って売れ行きは好調でした。聖愛園のブースはたくさんのお客様で賑わい大盛況でした。



あじさい祭りは今年で十七回目ですが、元々は二十年前の1993年に農村景観にマッチしたあじさいの里づくりを目指し、丹生地区、大師の里の田んぼや立梅用水沿いに地元ボランティアが『大師の里・あじさい一万本運動』を開始したのがはじまりだそうです。

今では一万余本以上のあじさいが咲き誇り、日本一長いあじさいの小径も誕生しています。

これからもこのような地域活動に積極的に参加して利用者と地域社会を繋ぐ架け橋となるよう努力したいと思います。

生活支援員 高山かおる



職員の声!

聖愛園に勤めて1年が経ちました。障がい者施設で働くのは初めての事で、解らない事ばかりで不安でしたが、先輩方に丁寧にご指導頂き、又、利用者様の明るい笑顔に励まされ毎日楽しく働かせて頂いています。

毎日の顔をみて挨拶する事を心がけています。健康状態や気持ちが悪く表れるのを見過ごす事のないようにしています。

言葉で意思の疎通を図る事が難しい中、様々なコミュニケーション方法を用いて訴えを理解できるように取り組んでいます。利用者様一人ひとり必要とされる支援は異なりますが、どなたにどのような支援が必要なのか注意深く見極めながら利用者様の気持ちに寄り添った支援が出来るように頑張りたいと思います。



これからも利用者様が毎日安全にケガなく過ごされる事を第一に、常に利用者様の立場に立ち考え支援していきたいです。自分自身の知識を深め日々成長していきます。

生活支援員 川辺友美

私が聖愛園に勤務をはじめてから早6ヶ月経ちました。最初は仕事を本当に覚えられないだろうか?と不安で一杯で、早番や遅番などシフト制の勤務形態に慣れるのにも少し時間がかかりましたが、それでも先輩方皆さんが丁寧に一生懸命仕事を教えていただき、この6ヶ月間を過ごす事ができました。



聖愛園で勤務して良かったと思う事は、二〇代から七〇代まで幅広い年齢層の利用者さんや職員と接する事が出来ることだと思います。生きていく間には

年上から学んだり、また年下から学ぶ事も沢山あると思います。利用者さんは皆さん個性に溢れていて毎日が大変勉強になります。そして昨日と全く同じ日が来ません。利用者の方の目を見て少し話してみると『今日は元気だな』や『あんまり元気がない』など分かれます。これから、利用者の方々と信頼関係を築き自分自身もこれからの長い人生をこの聖愛園で成長していきたいと思っています。

生活支援員 矢口哲也



聖愛園に勤め出して一年半が経とうとしています。福祉の世界が初めてだった事もあり、昨今の頃は毎日が緊張と焦りの繰り返しでした。それでも「私に任せ

てもらっているんだ」という強い責任感のもと、必死で頑張ってきました。二年目に入って、緊張感は残しつつ、昨年よりは手際よく仕事がこなせているように思います。それでもまだまだ勉強不足の事がたくさんあるので、昨年以上に頑張らなければいけません。私はほとんど事務所にいるので、利用者さんと直接ふれあう機会は少なく、自分は利用者さんのために何ができていけるのだろうか?と悩んだ事もありました。

しかし、受給者証の更新や医療費の管理などの事務作業を通じて、利用者さんが安心して聖愛園を利用していただけという、保護者の方にも安心して託していただけるよう、土台となる部分をしっかりと作って補強して守っていくことが私の使命なのだと考えるようになりました。来年には通所事業所が完成し、事務所の体制も少し変わります。その時に「この人なら安心して任せられる。」と言ってもらえるように精進したいと思います。

事務員 久保加奈子

医務室より

熱中症対策!

今年も、暑い夏が近づいてきました。お天気が良く聖愛園でも遠足や外出が多くなりますが、注意しなければならぬのは、熱中症です。

利用者様のほとんどは、「暑い」「喉が渇く」などの訴えが出来ないので、気温や環境条件だけでなく、利用者様の体調や体温調節機能に留意した対応が必要になってきます。



また、気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い日、風が弱い日、朝夕の温度差にも注意が必要です。(熱中症は室内でも多く発生します)

熱中症を疑う症状は、めまい・立ちくらみ・筋肉痛・汗がとまらない・頭痛・吐気・倦怠感・虚脱感・意識がない、けいれん、などです。これらの症状を予防するためにも、①喉が渇かなくてもこまめに水分補給を行なう(汗をかいた時には塩分の補給をする)②外出時には涼しい服装をし、帽子をかぶる③温度、湿度を測定しエアコンを使用する④暑い時は無理をしないなどを心がけ、利用者様、職員全員で夏を乗り切り、園での生活を楽しく送っていただけるように努めたいと思います。

看護師 木下明美

第2回寿司パーティー!

去る二月十日(日)、松阪市の『寿し正』さん握り手にお迎えして、第二回・聖愛園すしパーティーを開催しました。昨年からはじめた催しで、利用者様・保護者様から大好評を頂き、今年も『寿し正』さんや、給食会社トモさんのご協力のもと、開催の運びとなりました。

この日の為に、利用者様と保護者様が最も寛いで頂けるには・・・と、会場の飾り付けや机等の配置、食事に関する様々な事を何度も担当職員で話し合い、試行錯誤を繰り返しながら当日に臨みました。

今年の目玉は、なんとと言っても全身トロの“養殖本まぐろ”です。ぶり・えび・卵、そしてトモさんに提供して頂く助六・・・役者が勢ぞろいし宴の始まりです。普段は刻み食や粥食を提供している利用者様も、この日は



かりは保護者様の見守りのもと、握り寿司を召し上がって頂きました。いつもとは違う笑顔が、とても印象的な昼食でした。

食事の後は、これまたお待ちかねのカラオケ大会。植村生活支援員の優しいエスコートで幕を開け、利用者様、保護者様の自慢の歌声が会場にこだまして、満腹になったお腹に心地よい音色を奏でてくれました。

何度も打ち合わせにご協力いただき、美味しいお寿司を提供下さった『寿し正』さん、お忙しい中來園くださった保護者の皆さま、そして利用者の皆さまの“笑顔”に感謝致します。ありがとうございました。また来年、食を通しての交流・親睦、そして美味しいお寿司と共に皆さまの“笑顔”のお手伝いが出来たらいいなあと思います。

栄養士 羽根めぐみ



事務室より・編集後記



御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十五年一月十六日
至平成二十五年七月十五日

ご芳志ご芳名 敬称省略)

保護者会・大谷勲・海住美智子
武田スミヨ・中川和子

物品寄付ご芳名 敬称省略)

加藤八洲和・武田スミヨ・山野弘子
世古高滋・神廣かよ・水谷英男
中野智恵子・岸川みち子・松尾陸夫
岩城央生・大谷勲・森田知恵子
カインドファクトリー・万弁堂薬局
神宮寺・小山(株)・楠井法律事務所
富士電設備・(株)トモ・とみやま医院
朝田和子

(他にも匿名で品物を頂戴しております。)

今月から務めさせて頂いています
事務員の東川結香です。

福祉関係の仕事は初めてですが、



これから色々な事を勉強し少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますのでよろしく
お願い致します。

暑い日が続いていますが、利用者さんが健康で充実した夏を過ごしていただけるよう、鎌倉主任の“ガッツポーズ”のように職員一同頑張っていけます!

機関紙ひだまり第三十八号を発行させて頂いた頂きました。外出活動や旅行、創作や余暇活動など、聖愛園の日常をブログ『聖愛園☆活動日記』と併せて皆様に伝えていきたいと思っています。

ご一読いただければ幸いです。